



先生に聞きました！健康のお話

# 療養病棟、DNARについて

塩竈市立病院 吉田 院長

## ■療養病棟について

急性期が終了し慢性期になったが、施設等に退院するにはもう少しリハビリが必要であったり、もう少し治療して病態を安定させたいという患者さんが対象になります。失われた機能を回復するより、残存する機能を強化したり、維持するのが目的になります。

障害や老化による機能低下を異常と捉えるのではなく、新たに加わった個性ととらえ、個性にケアを心がけています。

また、治癒が期待できる急性期疾患と違って、障害等が残ってしまった慢性期では、「治ったら、好きなことができるから」と制限するのではなく、「今できることを、今しましょう」と積極的にやってもらうことが大事になってきます。

## ■DNARについて

DNARという言葉をご存じですか？ DoNotAttemptResuscitation(心肺蘇生を行わないこと)という意味の頭文字をとったものです。

予期されていない突然の心停止・呼吸停止時には、心肺蘇生を中心とした救命行為が最優先されます。具体的に心マッサージとは、胸骨を5cm位押し込むことで心臓に圧を加え、血液循環を維持しながら心拍再開を期待する行為です。胸を強打した後に突然死する不幸な例がありますが、これは力が心臓を刺激して不整脈を起こすことからと考えられています。心マッサージはこれと同じことを、心臓を動かすために行う行為です。毎分100回を目安に圧迫と徐圧を繰り返しますが、多分マッサージを受ける方は、1分間に100回胸を強打され続けることになり、大変苦しいだろうと思われます。人工呼吸とは挿管した管越しに、またはマスク越しに他者により呼吸のリズムをコントロールされることです。好きな時に呼吸ができないというのは非常に苦しいようです。

癌の末期などで、これ以上治療がない場合や、体力的な問題などからこれ以上の治療は効果が期待できない場合等で、徐々に体力が低下し、意識レベルも低下するような状態になり、ある程度予期できる心肺停止に対しては、心肺蘇生を行わないというのがDNARです。

病気そのものを治すための治療は期待できなくても、不快な症状を緩和するための治療は可能なことが多くあります。多くの患者さんやご家族は、治療のための治療ができなくとも緩和のための治療は希望されます。「できるだけ苦しめないようにして下さい」とお願いされることがほとんどです。「苦しめないように」緩和治療をしているのだから、最期の最期の「ある程度予期された」心肺停止に対しては、効果の期待できない、苦痛を伴う心肺蘇生のような患者を苦しめる行為はしない、というのがDNARです。事前に説明と書面による確認をすることになっています。



吉田 洋一 (よしだ よういち)

【塩竈市立病院】院長

【専門分野】消化器病・糖尿病

【所属学会】

日本消化器病学会、日本内科学会、日本消化器内視鏡学会、

日本消化器集団検診学会、日本膵臓学会、日本糖尿病学会、

日本感染症学会、日本超音波学会、日本老年医学会

【認定資格】

医学博士、日本内科学会認定医、日本消化器病学会認定医、専門医

# 看護部長挨拶 海老原 佐智代



現代社会はこれまでいつの時代にも経験したことのない超高齢化社会を迎えようとしていることはご周知のとおりと思います。

2025年には団魂の世代全員が75歳以上となり、医療・介護需要が増加することが予測されます。さらにその先の2035年に視点を移すと団魂ジュニアが65歳以上に達し始め全人口の1/3を高齢者が占める高齢多死社会になると予測できます。

地域包括ケアシステムが機能するためには、病院から地域・住宅へスムーズな移行ができるよう支援が必要になります。スムーズな移行ができるためには、看護職がどう考えて行動するかによると思います。

看護職は病気をみる「医療」の視点と生きていく営みである「生活」の視点を併せて持つ専門職です。

より良い地域医療への貢献を目指して、看護職の人材確保や離職防止、潜在看護師の活用、新人看護師研修など多くの看護関連事業がそれぞれの自治体に委ねられるようになってきております。しかし、看護職だけで地域包括ケアシステムを構築することはできませんので、介護も含めてチームで切れ目のないケアやサービスが提供されることが必要です。看護職がチームのキーパーソンとして役割を發揮していくことが重要であると考えます。これから看護管理者は自組織の中のマネジメントに留まらず、地域の医療提供体制の情報交換や意思決定の場面に参画し、地域住民の健康とQOLを守り支えることを推進するリーダーとなることが求められていると感じております。

## 活動報告

### 第15回地域連携サロン (第5回地域緩和ケア事例検討会)

【開催日時】  
平成29年7月4日(火)  
17:30~19:30

【開催場所】  
塩竈市立病院3階会議室



今回の第5回地域緩和ケア事例検討会には、医師、薬剤師、看護師、栄養士、介護職など、当院職員を含め33名の参加をいただきました。『日常のモヤモヤにお答えします』をテーマに、グループディスカッションを行い、その後発表となりました。参加者からは、「地域でのつながりや、協力できる関係ができて良かった」「他職種の意見が聞けてとても参考になった」「それぞれの業務に特化してしまうだけでなく、連携を深める必要があると思った」などのご意見をいただきました。

### 岩崎佳子院内ピアノコンサート



8月9日(水曜日)、ジャズピアニスト岩崎佳子さん、コーラスグループ「シング・スイング・シンガーズ」を迎え、院内ピアノコンサートが開催されました。岩崎佳子さんの奏でる美しい音色とシング・スイング・シンガーズの美声に院内スタッフ、患者様は至福のひとときを過ごすことができました。



地域医療連携室  
看護師  
高橋 純子



医事課・地域医療連携室事務の遠藤沙紀さんからご紹介頂きました、地域医療連携室の看護師高橋純子です。平成元年より塩竈市立病院に勤務しており、地域医療連携室は3年目になります。生まれは岩手県釜石市、石巻の人と結婚しもう成人の子供が2人です。私の趣味は、服や本、いろいろと集めた情報などを時々整理することです。始めるとやめられなくなります。

仕事では、自分や自分の家族だったら、どのように対応して欲しいかと考えて行動しています。みんなが幸せに笑って過ごせたらいいな。と思っています。

「ラブ♥&ピース」

思いやりのある心で嬉しい毎日、心の中で「ラブ&ピース」と唱えながら過ごしています。

## 次回のなかまわ

5階病棟看護師  
阿部 ヒロ子



【紹介理由】

いつも優しい笑顔で会うたびに癒されます。何かあっても「ホッ」とさせてくれる存在のステキな方です。

# 11月のレシピ

サンマはたんぱく質、脂質が豊富でEPA、DHAというコレステロールや血圧を下げてくれる多価不飽和脂肪酸が大量に含まれています。

## さんまのカルパッチョ



材料 (2人前)

- さんま(刺身用)……………1尾
- 紫玉ねぎ……………1/4個  
(普通の玉ねぎでも可)
- 大葉……………2枚
- ニンニク……………1/2かけ
- かぼす又はレモンの絞り汁……………大さじ1
- オリーブオイル……………大さじ1/2
- 塩……………ひとつまみ(約1g)
- ブラックペッパー……………少々

1人あたりエネルギー 169カロリー、塩分0.8g

### 作り方

- ①さんまを三枚におろし、腹骨や小骨をおとし、表皮をはがす。
- ②①を3%の塩水※で洗い、キッチンペーパーに包んで冷蔵庫で1時間ほど休ませ、食べやすく切る。※3%の塩水(材料外):水500ml+塩大さじ1
- ③大葉を千切りし、紫玉ねぎは薄くスライスして水にさらした後、しっかりと水分を切る。
- ④皿にニンニクの切り口をこすり付けて香りに移し、紫玉ねぎスライス、さんまの順で盛り付ける。
- ⑤④にオリーブオイル、塩、ブラックペッパーをまんべんなく振り、その上に大葉の千切りを乗せる。
- ⑥食べる直前にかぼす又はレモンの絞り汁をかける。

### 知識

サンマは8月末～10月中旬に北海道から三陸沖で水揚げされ、旬を迎えます。

この時期のサンマは脂がのっており、脂質が20%を超えるものもあります。サンマの脂質には血液の性状を健康に保ち血栓を予防するEPAや、脳・神経の発達に必要とされるDHAが豊富です。他にも、ビタミンA、D、E、B群も多く、特に赤血球の生成に関与し貧血予防に必要なビタミンB12を多く含みます。

平成28年度	4月	5月	6月	7月
4月から7月の 紹介患者数・逆紹介患者数	紹介患者数 120件	118件	116件	134件
	逆紹介患者数 140件	132件	162件	130件

## 交通の案内



### ◆お車で来院の方

院内及び病院周辺にあわせて109台の無料駐車スペースを確保しております。

### ◆電車で来院の方

JR仙石線西塩釜駅より徒歩5分  
JR東北本線塩釜駅より徒歩8分

### ◆塩釜市100円バスで来院の方

NEWしおナビ100円バス  
南東部コース・南西部コース・西部コースは  
当院玄関前まで乗り入れております。

### ◆七ヶ浜町民バスで来院の方

町民バス「ぐるりんこ」も当院玄関前まで  
乗り入れております。

## 塩釜市立病院

TEL.022-364-5521 塩釜市立病院 検索  
<http://www.city-hospital-shiogama.jp/>



### 発行・編集

塩釜市立病院 地域医療連携室  
〒985-0054 宮城県塩釜市香津町7番1号  
TEL・FAX.022-361-7217